

令和6年度 学校評価(12月)成果と課題

【重点目標1】確かな学力

保問・・・保護者アンケート
児問・・・児童アンケート

保問2	お子さんは、目標をもって学習したり生活したりしていますか。
児問2	目標をもって学習したり生活したりしていますか。
保問3	お子さんは、調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか。
児問3	調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいますか。
保問4	お子さんは、日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。
児問4	日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。
保問5	お子さんは、毎日の学習でタブレットを活用していますか。
児問5	日々の学習で、タブレットを活用していますか。
保問11	お子さんは、授業がわかりやすいと言っていますか。
児問11	授業がわかりやすいですか。
児問20	友達や先生の話を聞いて、自分を深めようとしていますか。



成果と課題

- ・保護者の回答は、すべての項目で、市内平均より14P～22P上回っています。このことから、確かな学力に向かうための日々の教育活動が成果を上げているものと考えられます。
- ・問2, 3, 4の保護者の回答は前期より大きく上回っています。それに対し、児童の肯定的な回答が減少しています。問4の減少は、図書資料を使う機会が多くないことがあげられます。本を読むことが好きな児童が多く、読書に親しむことはできていますが、調べ学習としてタブレットの活用が増えることで、図書室の資料を使用する機会が減っているということがこの数値から垣間見えます。
- アナログとデジタルを効果的に使用するハイブリッドな調べ学習の仕方を、発達段階に応じて計画していくことが課題であると考えます。
- ・宮田小独自項目の問11では、保護者、児童ともに前期より下がりました。
- 集団授業の中でも個に応じた支援を行い、全ての児童がわかる授業が行えるように、教員の授業力の向上に学校全体で取り組みます。

【重点目標2】豊かな心

保問1	お子さんは、友だちと「互いの良さを認め合う」ような関係づくりができますか。
児問1	友だちの良いところを見つけることができますか。
保問13	お子さんは、友だちや家族、顔見知りの人などに、自分から進んで挨拶をしていますか。
児問13	友達や家族近所の人に自分から挨拶をしていますか。
保問14	お子さんは、自分の役割に責任をもって取り組んでいますか。
児問14	当番や係、委員会の仕事など、自分の役割に責任をもって取り組んでいますか。
保問15	お子さんは、誰とでも優しく関わっていますか。
児問15	誰にでもやさしくすることができますか。
児問17	人の気持ちを考えて行動できますか。
児問18	乱暴な言葉を使わないように気をつけていますか。



成果と課題

- ・保護者の回答は、すべての項目で前期よりポイントが上がっています。また、市内共通項目である問1は市内平均や近隣学校の数値よりも高くなっています。
- ・宮田小独自項目の問15では、保護者、児童ともにポイントが上がりました。本校の研究教科の特別活動を柱とした学級活動や学校行事への取り組みの成果が表れていると考えます。その一方、友達へのやさしさやいたわりの思いなどへの苦手意識を持っている児童が減少していません。
→日頃の教育活動や行事の中で良好な人間関係を築く力を高めていくように、学校全体で工夫と取り組みを考えていきます。

【重点目標3】健やかな体

保問6	お子さんは運動やスポーツに親しんでいますか。
児問6	日頃から運動やスポーツに親しんでいますか。
保問7	お子さんは望ましい食習慣が身についていますか。
児問7	給食では栄養やマナーなどを意識して食べていますか。
保問16	お子さんは、自らの安全(交通事故・けが・熱中症など)に気を付けて生活していますか。
児問16	交通事故やけがに気をつけて生活していますか。
児問19	早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についていますか。



成果と課題

- ・市内共通項目の問6は、市内平均より約3P高いですが、児童の肯定的回答は前期より約6P減少しました。
→正課体育での活動時間の増加やロング休み時間(宮田タイム)や朝スポの時間など、前期よりも体を動かす機会を増やしてきました。児童が肯定的な回答ができるようになるまで、さらなる工夫に努めています
- ・宮田小独自項目の問16は、保護者の肯定的回答が約3P高くなりました。ご家庭でも安全について普段から気にかけてくださっていることがわかります。児童も安全意識を高く持ち、大きな事故などなく学校生活を送ることができます。

【重点目標4】信頼される学校

保問8	学校は、保護者や地域の方々とともに、子どもを育てる取組を進めていますか。
児問8	学校の活動で地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか。
保問9	学校には、一人一人に対応したきめ細やかな支援体制が整っていますか。
児問9	困ったことがあったときに相談できる先生がいますか。
保問10	学校は、体験活動を取り入れていますか。
児問10	学校の活動では、体験（見る、聞く、触れる）や、交流が取り入れられていると思いますか。
保問12	お子さんは、学校が楽しいと言っていますか。
児問12	学校が楽しいですか。
保問17	学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるよう努めていますか。
保問18	学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応していますか。
保問19	学校は、ホームページ・メール配信等で適切に情報提供を行っていますか。



成果と課題

- ・今回のアンケートにおいて、すべての項目において児童の肯定的回答が低くなっている中、宮田小独自項目の問12が約2P 上がり、92%でした。
→学校での子供たちの笑顔があふれている様子が、数字で裏付けられました。今後は肯定的回答の中でも「そう思う」がさらに増えていく学校に向けて全職員で努力をしていきます。
- ・後期もたくさんの地域の方に来校いただき、「出前授業」を実施してきました。児童の回答が約7P も大きく上がっていることもからも、児童の記憶に残る授業が行われていることがわかります。
→今後も、地域とともにある宮田小の特色を継続し、出前授業を大切にしていきたいと考えています。
- ・問9の保護者の回答が約4P あがりました。たくさんの素晴らしいサポーターの先生方の支援の様子などを丁寧に伝えてきたことから、ご理解をいただけたものと捉えています。